



第28回河童サミット in 九州  
 〈地域に活きる河童のふる里〉  
 開催 9月22日(火・祝) 23日(水・祝)  
 主催 河童連邦共和国

□ 発行人 河童共和国内閣官房 □ 入国管理事務局 〒866-0893 日本国熊本県八代市海士江町2681-2 田辺方 TEL(0965)32-5788 FAX(0965)33-8524



〔河童通信社〕第27回河童サミット全国交流会(11月、静岡県焼津市内で開催)は、2015年度サミットを川内川河口の薩摩川内市(鹿児島県)で開催することを決定した。川内がらっぱ共和国の箱川大統領と中侯副大統領がサミットへ出席、ホスト役を快諾した。九州での河童サミットは八代(第1回、1988年)から27年ぶり、2回目にな



川内河童共和国建国式 1991年11月



第4回九州がらっぱサミット・国会会議 1996年9月



薩摩川内がらっぱ共和国建国20周年記念祝賀会 2011年12月

## 2015年度・第28回河童サミット 薩摩川内市開催決定

る。開催日は薩摩川内の夏祭りのハイライト「大綱引き」見学を兼ねる9月22日(火・祝日) 23日(水・祝日) 案が内定している。

東京都文京区千駄木 3-28-17-1903  
 TEL03-3828-13054  
 川内がらっぱ共和国  
 鹿児島県薩摩川内市  
 東郷町斧淵1808  
 TEL0996-42-11810  
 FAX0996-42-11239

〔問い合わせ〕  
 河童連邦共和国

九州がらっぱサミット2回主催の実力派。

1991年、川内がらっぱ村と川内がらっぱ王国が合併して発足。「川内川を日本一の清流に」を合い言葉に、河童による古里づくりを推進。市の中心街(3号線沿い)と川内川流域の河童ロードに官民一体の努力が実っている。

箱川政己大統領は2代目、1993年就任。以後21年の長期政権。

川内川は九州第二の1級河川(流路137km)。シンボルマークは「いかだに乗った河童」。

川内川中流域の夔刈がらっぱ公園(伊佐市)も必見のすぐれもの。

### 河童の眼

### 川内がらっぱ共和国と川内川



### 河童連邦本都役員 河童渡来の碑へ

10月13日、河童連邦共和国(河童愛好家の全国組織・東京) 中村寿宏副大統領、辻忠城副大統領、田辺宏守官房長官3氏が薩摩川内市訪問(第28回河童サミット打ち合わせ)の途次来訪。河童共和国は田辺大統領と福島歴史民俗担当相が応対。古麓の妙見水神・球磨川水系遙拝壇・前川河畔の河童渡来の碑・八代港・麦島のシユウマイ渡来の標柱・晩白柚の湯野果樹園へ案内の後、歓談。一行は午後の新幹線で南下した。

# 河童の眼から見た浦安

2004年開村以来、**浦安**は、**浦安**の境川を河童のすめるきれいな川にしようを合い言葉の活動。その結晶として05年、川沿いに「べか舟河童」像が建立された。

九州との交流も活発。九州かつばサミットへは、大村（長崎）相良（熊本）御船（熊本）へ代表団を送っている。宇田川村長は御船サミット記

念シンポジウム《河童と恐竜の未来について》でパネラーをつとめた。八代へも05年以来、夫婦同伴で再三来訪している。

宇田川さんは河童連邦共和国副大統領も兼任。童話アンソロジー「浦安かつば物語」ふるさと浦安の原風景のなかで「ほか童話作家としての著作も多い。

## べか舟カツパの意気高し

### 浦安かつば村 開村10周年記念・全国河童交流会

浦安発・河童通信社）ふるさと 浦安かつば村（宇田川敬之助村長、千葉県）開村10周年記念祝賀会を兼ねた全国交流会が、四月十三日、市内のホテルで開催された。北は名寄・札幌、南は八代。海外は台北の25グループ。地元は行政・議会、商工会議所、細川流

投網保存会、観光コンベンション協会など10団体代表135名。河童共和国から田辺大統領、檜逸夫（八代市出身、千葉市在住）が出席。浦安ジュニアオーケストラの弦楽奏、尺八吹奏、日舞など文化プログラムが祝宴を盛り上げた。

出席者は午前中、境川沿いを散策、「べか舟かつば像」や郷土博物館を見学した。

田辺大統領は祝賀会の後、河童民芸品資料館「賢ちゃんの河童ハウス」（東京・江東区）を訪問、佐藤賢吾館長夫妻と歓談した。



宇田川村長夫妻、八代来訪 2005年9月  
ふるさと浦安かつば村開村10周年記念



浦安かつば村開村5周年記念祝賀会 2009年4月



童話アンソロジー「浦安かつば物語」出版記念祝賀会で挨拶する宇田川敬之助さん 2010年4月



浦安かつば村開村10周年記念、全国交流会 2014年4月

## カップパ歴28年 暮らしやすい世の中に

河童共和国首相 萩本美壽

河童共和国創建以来のキヤリアーです。からカップパ歴28年になります。本年は久々に九州（薩摩川内）で河童サミットの朗報が入ってきました。大いに期待しております。

昨年浦安かつば村開村10周年祝賀会・全国交流会や第27回かつばサミットin焼津へ代表団を派遣し、全国のかつば族と交流・親睦の実を上げました。日本経済新聞の特集「河童伝説 九州になぜ多い」の取材に協力しました。地元では県立清流高校生との河童談義も実現するなど、多方面で着実な活動をするこ

とができます。一方、この一年、人間社会は悪政を呪ううめき声に覆われました。消費税8%と生活必需品の値上げラッシュ。ア

ベノミクスという名の貧富と格差社会の進行。不正規雇用の増大。TPPという名の農業破壊。何のための総選挙か不明のまま、いきなりの解散・総選挙。600億円以上の血税が浪費されました。憲法九条の改正・積極的平和主義の名で戦争をする国へのたくらみなど。平和と暮らしを脅かす暗雲に覆われています。

自然災害も各地に頻発しました。広島の大土砂崩れ、御嶽山大噴火の被災者に心からのお見舞いとのお悔やみを申し上げます。

暮らしやすい世の中のために、今年も河童族各位のご活躍を心から念じてご挨拶いたします。

## 新春

写真 「九月は日奈久で山頭火」ウオーク。山頭火役の萩本首相)



2014/9/28 山頭火ウオーク 於 球磨川河川敷

# 河童の「清流と夙志」 伝進時代へ

## 焼津サミットに出席して

福島 誠時

旧年11月16、17日、マゲロ漁港で有名な焼津の「龍ちゃんのカップパ館」を中心に「河童サミットin静岡・全国交流会」が開催され、待ちに待ったカップパ館が全国から参集。北は北海道・桜庭康喜さん（名寄かつば村村長）、南はグローパー。台北かつば村の林錦松さん（前村長、河童連邦共和国副大統領）らと地元元運が盛大に交流。八代から田辺大統領と私2名出席しました。

「龍ちゃんのカップパ館」は2009年ギネス認定・世界一。所蔵品には目を見張ります。量だけでなく、清水崑、水木しげる、小島功をはじめ、著名画家、小説家、工芸家の作品1万余点。垂涎の逸品ばかりでした。中でも「ワールドカップ・日本対ブラジル」「河童楽団」の造形美と陳列の妙には、入場者を飽きさせない細心の工夫があります。又、カップパ館に近い県道沿い（2

km）には、店先に河童モニュメントの歓迎。石屋さんには熊本ユルキヤラ「くまもん」も。有名になったものです。次回サミットが鹿児島県薩摩川内川内がらつば共和国は「川内川を日本の清流に」を合い言葉に、河童による地域づくりの雄として名を馳せています。



北野さん夫妻、八代来訪 1993年8月



龍ちゃんのカップパ館竣工祝賀会 2005年10月



龍ちゃんのカップパ館、ギネス認定祝賀会 2009年11月



第28回河童サミット・静岡 2014年11月  
龍ちゃんのカップパ館で、右から2人目、北野館長

## 肥後八代・球磨川と河童共和国

日本初のダム撤去となった球磨川水系「荒瀬ダム」の撤去工事も本格化。市内には車体にカップパ図の市営周行バスが走り回っており、カップパグッズとしての面目を保っています。河童九千坊も「日本一の清流」を目指し頑張っており、わが共和国の情報はタイクーン社（東京）の協力（フェイスペイン）

クを得て発信しています。私の活動としては、鳥取県三朝温泉を訪ね「カジカとくまもん」ば、大阪天満宮では「日羅公とくまもん信仰」、宮城県阿武隈川・遠刈田にて「村人とくまもん」取材しました。（河童共和国歴史民俗担当）

## 随想

### 余生を平和のために

檜 逸夫



東京を中心とする関東平野は、日本海沿岸の北陸地方が大寒波に襲われるほど晴天が続きます。それは北陸地方と関東地方の間にまたがる越後山脈が北から来る寒波に立ちちはだかり、そこで勢力を弱めてしまうからです。お陰で今年も穏やかな正月三日間でした。東京大使としての活動は、近年、関東地域の友邦河童族との交流に成果がありました。おいてけ堀かつば村（東京）開村20周年祝賀会、浦安かつば村（千葉）開村10周年記念・全国交流会へ出席しました。賢ちゃん（河童ハウス）（東京江東区）の佐藤館長は熊本出身の誼から連絡をとりあっています。

ところで、今年日本が第2次大戦に敗れて70年の節目の年になります。私はそのとき中学一年生。八月の夏休みでした。それまでの数年間、学校では「大きくなったら天皇陛下のため、お国のために一身を捧げ、名譽の戦死を遂げることこそが、立派な生きる道だ」の教育を叩きこまれました。それ故に「日本が敗れた」との報を聞いた後しばらくの間は、今から我々は何のために生きて行けばよいのだろうかと思然としたことを思い出します。私たちは十五年戦争の反省から、「日本は絶対に戦争はしない、平和国家をめざす基本的理念」のもとで平和憲法を制定し、それを守ってきました。人間として国家として誇りある素晴らしいことだとおもいます。「健康な体が一番の幸せだ」とは日常生活の話のなかでよく出てくる言葉です。その通りで、戦争は生命と夢を奪い暮らしを破壊します。微力ながら、余生の一部を平和のために尽くしたいと想う正月でした。（河童共和国東京大使）



坂口拓史

新年無事明けけていまして、おめでとうございます。それほど事件・事故が多かった一年でした。余命八ヶ月の宣告を受け、九ヶ月が経った。今はオツリの人生。余命の余生で、悠々自適。オツりに囲まれた畳一枚分のベッド暮らし。しかし、書きたいことが山ほどある。小さな食卓で十分か二十分、ノタノタとペンを走らせる。

今日、抗ガン剤の投薬を受けた。四日間続く。副作用もあり、平成二十六年三月二十七日には心肺停止に陥った。不貞脈ならぬ不整脈の持病があったのだ。私はホンの一寸、別世界を覗いてきた。残念ながら、今回は何もなかった。真つ暗闇の世界に、私らしい魂がフワフワと漂っているだけ。全く夢も希望もない。河童の九千坊や三千坊もない寂しい世界だ。しみじみ、この世は辛く、苦しくとも生きてくることは良いものだと思う。

臨死体験も三度目。言えるのは、何も急いで往く処ではなさそうだ。平成二十六年は拙書「トリカブト事件」が「世界仰天ニュース」「世界衝撃ストーリー」の二本、民放で放映された。東京のテレビ局から、入院中の八代市に在る熊本総合病院まで数回取材に見えた。一局で約六時間ほど、撮影が続いた。病院側の協力に頭が下がった。私の出番は五分程度。コマージュと本編の合間をつなぐ、接着剤みたいなもの。私は放映日を、忘れていた。どうやら、認知症が始まったらしい。放映後、東京の息子から電話があった。「消費期限もきれている人間がサア、勝手に顔を出すなよ。今夜俺はソンの存在を信じたネ。けどサア、死ぬなら野球のオフシーズンにしてくれ。頼むぜ。一年間百四十試合の草野球に出ている息子に宣言された。さもありなん。」

(河童共和国文化相、作家)

## 河童族往来

### ①河童ハウス・佐藤館長夫妻来代

3月19日、「賢ちゃんの河童ハウス」(東京都江東区)の佐藤賢吾館長・美江さん夫妻が来代。田辺大統領夫妻と歓談した。佐藤館長は熊本県和水町出身。かつぱ歴23年。東京おいてけ堀かつぱ村情報局長を兼務。「賢ちゃんの河童ハウス」は河童民芸品3千点収蔵の博物館。2011年オープン。

### ②日羅ゆかりの難波行

5月16～18日、田辺大統領と福島歴史民俗担当は、6世紀の巨人・日羅の文献収集と史跡散策、日羅公崇敬祭出席のため難波行。大阪日羅公顕彰会澤田平代表・同心2丁目振興会宮本和久会長の案内、熊本県芦北町教育委員会(郷土史家吉田善

三さん・大島幸輔主事)のお誘いによる。

日羅は九州南域・芦北地方の統治者。百済の国ではNo2の文人政治家。橘寺(奈良県明日香村)には「聖徳太子の家庭教師」とある。旧淀川治いの「堀江」で暗殺された。

### ③田辺大統領、清流高校生と河童談義

11月10日、県立八代清流高校二年生3名(指導教諭・中山先生)来訪。河童談義に花を咲かせた。あらかじめ10項目の質問がFaxで寄せよせられ、当日、田辺大統領が答えた。後日、生徒さんから「研究がはかどり、良いプレゼンテーションができた」「無事に論文を書くことができた」「機会があったらまた是非お話を」など嬉しい便り。



龍ちゃんの  
カツパ館  
ギネス  
認定証

### ④日経新聞が九州の河童特集

日本経済新聞社が「九州・沖縄 謎解きアカデミー」企画のなかで『カツパ伝説 九州になぜ多い』を特集、11月29日報道した。田辺大統領が日経新聞岩崎記者の取材に協力した。



①河童ハウス・佐藤館長夫妻来代



②日羅ゆかりの難波行



③田辺大統領、清流高校生と河童談義